

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2020
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.119, No.2 (2020. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小倉孝誠教授退任記念論文集
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01190002--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

小倉孝誠教授 退任記念論文集

目次

I	小倉孝誠教授 履歴・研究業績	
1	メリュジーヌ伝説と記紀：水妖を巡る雑考2	片木智年
26	現代日本語における助詞「とか」の多義性の分析	芦野文武
37	メタファーと論証意味論	喜田浩平
52	フランシス・ポンジュの「論理的または造形的な美しさ」 ——「1965年4月フェノザの栄光に、この未完成の小石膏像」をめぐって	綾部麻美
68	ジロドゥにとって、作者とは何か？	ヴァンサン・ブランクール
81	大正期の日本人によるポール・クローデル受容 小牧近江がみたクローデル(1)	西野絢子
93	刻銘と心臓——メトレの誕生(1)	岑村傑
106	耳で書く文学——ジョルジュ・バタイユとマリ＝ルイズ・バタイユによる ドストエフスキーの翻案放送劇『地下の精神』について	中川真知子
120	供犠と責任——ジャック・デリダとジャン＝リュック・ナンシーの 供犠についての対話——	市川崇
133	テオドル・ド・バンヴィルにおける詩的シャンソンの実践	五味田泰
146	バルトとボードレール： 「人生の重大な状況における身ぶりの誇張的な真実」	築山和也
158	戦間期から戦後へ——ミシェル・ド・ゲルドロードの場合——	宮林寛
167	見ることと見られること——『夢想』における孤独と著名性——	井上櫻子
180	『田園閑話』閑話	荻野安奈